

富士河口湖古の小径

蓮華寺星祭りについて

蓮華寺（富士河口湖町大嵐）では毎年二月の三日曜日に星祭りというお祭りを行っており、県内外各地より参拝者で賑わいます。

当日は大荒行という修行を終えた修法師と呼ばれるたくさんのお祈りを招き、修行中に行う作法通り水行をして身を清め、参拝した方にお払いをします。

日蓮宗では毎年十一月一日から二月十日までの寒一百日、日本三大荒行の一つに数えられる大荒行という修行があり、その修行を終えた者に祈禱師の免許を授けています。

大荒行は晴天三時の水行に始まり、一日計七回（三時、六時、九時、十二時、三時、六時、十一時）の水行、朝、昼、夕、夜の勤行、一日二食の粥の食事、睡眠時間は平均二時間半、読経三昧を行う過酷な修行で、現在は千葉県の中山法華経寺で行われています。

蓮華寺の星祭りは先代四十七世菩提院日証上人が当時身延山で行われていた大荒行を三百日成満し、昭和四十三年頃より始められ、現在に至ります。

九星学によると人は生まれた年月日によって異なった星を持つており、



その年の星の巡行によって良い方角に入ると良い影響が働き、悪い方角に入ると悪い影響が働きます。

星祭りとは大曼荼羅御本尊、鬼子母尊神、特に北極星が神格化された、北辰妙見大菩薩と自分の持つ九曜星（月・火・水・木・金・土・日・羅・計）に祈りを捧げ、良い方角に入っている人は益々良くなるように、悪い方角に入っている人は様々な災難を除いて、一年無事に生活出来るように祈るお祭りです。

宗派を問わないため、檀家さんではない人も大勢参加されており、一年の家内安全、身体健康、交通安全、商売繁盛、病気の方は病氣平癒、厄年の方は厄払い、子供さんがいない方は子授け等、様々な利益を授けてくれます。



蓮華寺 住職 八須一成

おめでた・おくやみ

【7月19日から8月22日まで】

おめでた（出生）

お子さん	父	母
山田 瑠璃	雅基	初江
野口 陽菜	岳文	美鈴
土橋 輝咲	朋輝	光
小佐野夏希	朗	裕美
渡邊 真帆	智一	真砂代
宇田川 凜	勢	愛
金子 七渚	覚	亜紀
小口 煌貴	英雅	永恵
三浦 逞巨	巨樹	真由美
山中 太惺	智寛	明子
三浦 にと	東	こずえ
渡邊 亜美	主哉	純子
高橋 蒼奈	健	千春
中村 水麓	宗博	真友子
小林 栞	基夫	玲
渡辺隆之介	浩二	かおり
腰塚 鈴	祐二	さつき
堀内 夏	敏彦	文枝
渡辺菜衣瑠	綱樹	瑞穂
櫻井 善鳳	哲也	絵美
		西湖南

おくやみ（死亡）

渡邊 政則	82歳	渡邊 新一
渡邊 正勝	82歳	渡邊 新一
		船津

届出人

富士河口湖町

第4回文化祭

11月2日(金)~4日(日)

= 出展作品大募集 =

部門 募集内容等

- 美術の部 題は自由、1人1点、10号以内(額装に限る)
- 写真の部 題は自由、1人1点、4つ切り以上全紙まで
- 文芸の部 題は自由、短歌・俳句・川柳は1人2首(句)以内。
随筆・詩は原稿用紙2枚程度で1人1篇
- 書道の部 書体は自由、1人1点、半切以下、表装又は仮巻きのこと
- 手芸の部 ローケツ染め、刺繍、編み物、リボンフラワー、粘土、木目込人形、パッチアーク等、1人1点
- 工芸の部 陶芸、木彫、竹細工等の工芸、染色等1人1点
- 拓本・写経の部 題は自由、1人1点
- 華道の部 生花、投入花、盛花、1人1点
- 芸能の部 芸能一般

園児・児童・生徒部門 (学校・保育所等を通じて募集します)

- 美術の部 題は自由、8つ切、縦横自由、画材自由(小中学生は額縁なし、平面に限る)
- 書道の部 児童は楷書、中学生は行書、1人1点、半紙縦書き、作品に学校名、学年、氏名を記入、学校・保育所等を通じて依頼

締切り

- 文芸の部 10月19日(金)午後1時から午後4時までに中央公民館へ
- その他の部門 10月24日(水)~25日(木)午前10時から午後4時までに勝山ふれあいセンターへ搬入して下さい。

お知らせ

今年からお祭り広場のかわりに、勝山ふれあいセンター前の駐車場で、うどん・もちだんご・ポップコーン等の販売をします。ご利用下さい。



1等・前後賞合わせて

2億円

10月1日(月)発売
(10月19日(金)まで)

オータムジャンボ宝くじ

- 1等 1億5000万円×26本
前後賞各2500万円
- 2等 1000万円×26本
- 3等 100万円×260本

売れ切れ次第
発売終了

この宝くじの収益金は市町村の明るい街づくりや環境対策、高齢化対策など地域住民の福祉向上のために使われます。

問合せ 山梨社会保険事務局大月事務所
0554223811

場 所 河口湖商工会
日 時 10月2日(火)
午前9時30分から午後4時

国民年金・社会保険相談所

人のうごき

8月1日現在の人口・世帯

人口 25,788人 (+46)

男 12,713人 (+27)

女 13,075人 (+19)

世帯 8,820世帯 (+22)

在原 大地 小澤みずき 勝山

程原 克広 池田美穂 大石

田中 圭 小野こみち 河口

外川 智宏 鈴木玲奈 小立

梶原 健一 三島祐子 小立

渡邊 良太 金子早苗 船津

おしあわせに(結婚)

小佐野亀雄 84歳 小佐野武子 勝山

堀内角雄 88歳 堀内美治 大石

岡崎好美 55歳 岡崎信夫 河口

天野国彦 49歳 天野政次 河口

大石藤江 59歳 大石眞六 小立

外川かつ系 84歳 外川久則 浅川

堀内しづ 86歳 堀内千秋 船津

渡邊隆一 92歳 渡邊はたこ 船津

渡邊常利 70歳 渡邊節子 船津

Happy Wedding



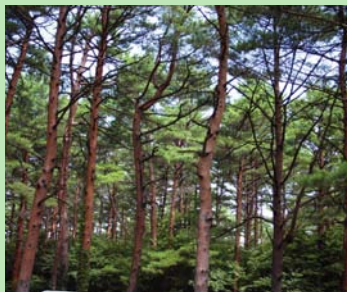
「広報富士河口湖」は資源保護とリサイクル促進のため再生紙を使用しています。

「町の木」「町の花」「町の鳥」が決定しました。

町内に在住の方を対象に公募を行い、多数のご応募をいただきました。

皆様のご意見を参考に「富士河口湖町総合計画審議会」において審議を行い、町の木は「あかまつ」に、町の花は「月見草」に、町の鳥は「やまがら」に決定いたしました。

町の木は「あかまつ」



富士の裾野の厳しい風土にも耐える力強い樹種で、富士山麓を中心とした地域に数多く植生している。

富士山と湖を引き立て、町民とともに、町の歴史をつくってきた木である。マツ科の常緑針葉高木。樹皮は赤褐色。

町の花は「月見草」



太宰治の「富士には月見草がよく似合ふ」で知られる花で、夕暮れから宵にかけて咲く可憐な花である。

町内には、マツヨイグサが多く自生しており、昔から俗称として「月見草」とも呼び親しまれています。

アカバナ科。月見草は白色、マツヨイグサは黄色で俗称「月見草」。

町の鳥は「やまがら」



人になつきやすく、町内全域に生殖し各施設において愛情をこめて餌付けすれば手乗りになり住民はもとより来町される観光客等にも癒しを提供できる可愛い鳥である。スズメ目シジュウカラ科の小鳥。全長約14センチメートル。腹面は栗色、のどと目の上が黒く顔はクリーム色、背面は灰色。低山帯の森林にすみ、昆虫や木の実などを食べる。

「町の木」「町の花」「町の鳥」を募集し、採用されに方に感謝状を贈りました。

写真左から

町の木は、「あかまつ」 梶原 浄さん(大石)

町の花は、「月見草」 宮下 旺さん(勝山)

町の鳥は、「やまがら」 渡辺 貞夫さん(船津)



町立美術館企画展紹介

両洋の眼

こだわらない自由がある。
 こだわりの美しさがある。

9月1日(土) ~ 11月18日(日)

毎年この時期に行っている「両洋の眼」。
 「両洋の眼」は和洋の垣根にとらわれず、多種多様な絵画表現をひとつのまなざし、ひとつの感性で観ようというスローガンのもとに、第一線で活躍する画家たちの最新作を発表してきました。
 今回が18回目となる「両洋の眼」では70余名の画家をとりあげます。



休日・夜間の救急医の問い合わせ先 23-4444 (富士五湖消防本部テレフォンサービス)
 平日 午後5時～、土曜日 12時から、日曜・祝祭日 午前8時～



ISO 9001 14001 認証取得
 質の高い住民サービスを提供します。
 地球環境にやさしい町づくりを進めています。